

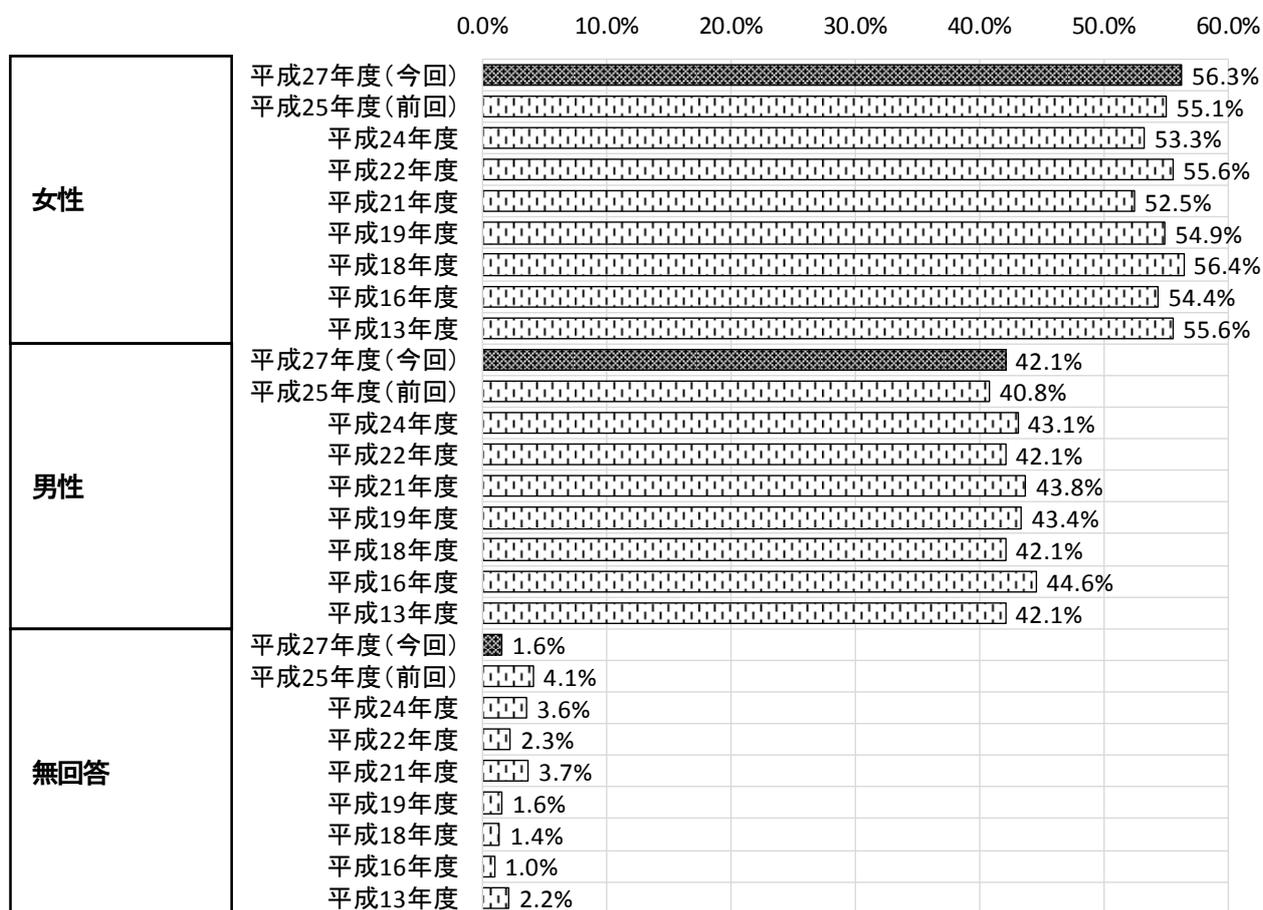
Ⅲ 市民意識調査の回答者の特性



1 基本属性

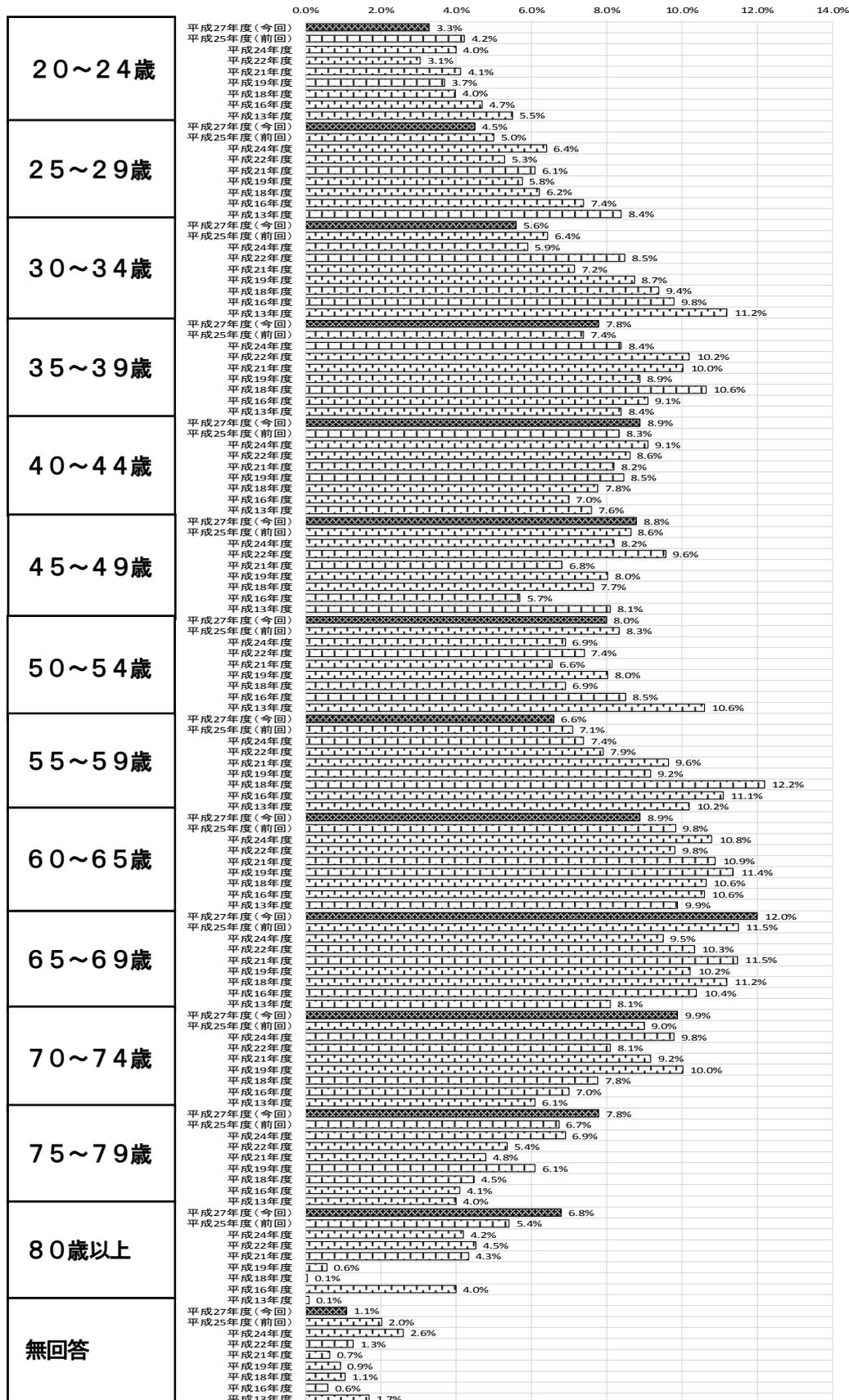
1-1 性別

回答者の性別をみると、“男性”(42.1%)よりも、“女性”(56.3%)の割合が高く、前回調査、前々回調査とほぼ同様の傾向を示しています。



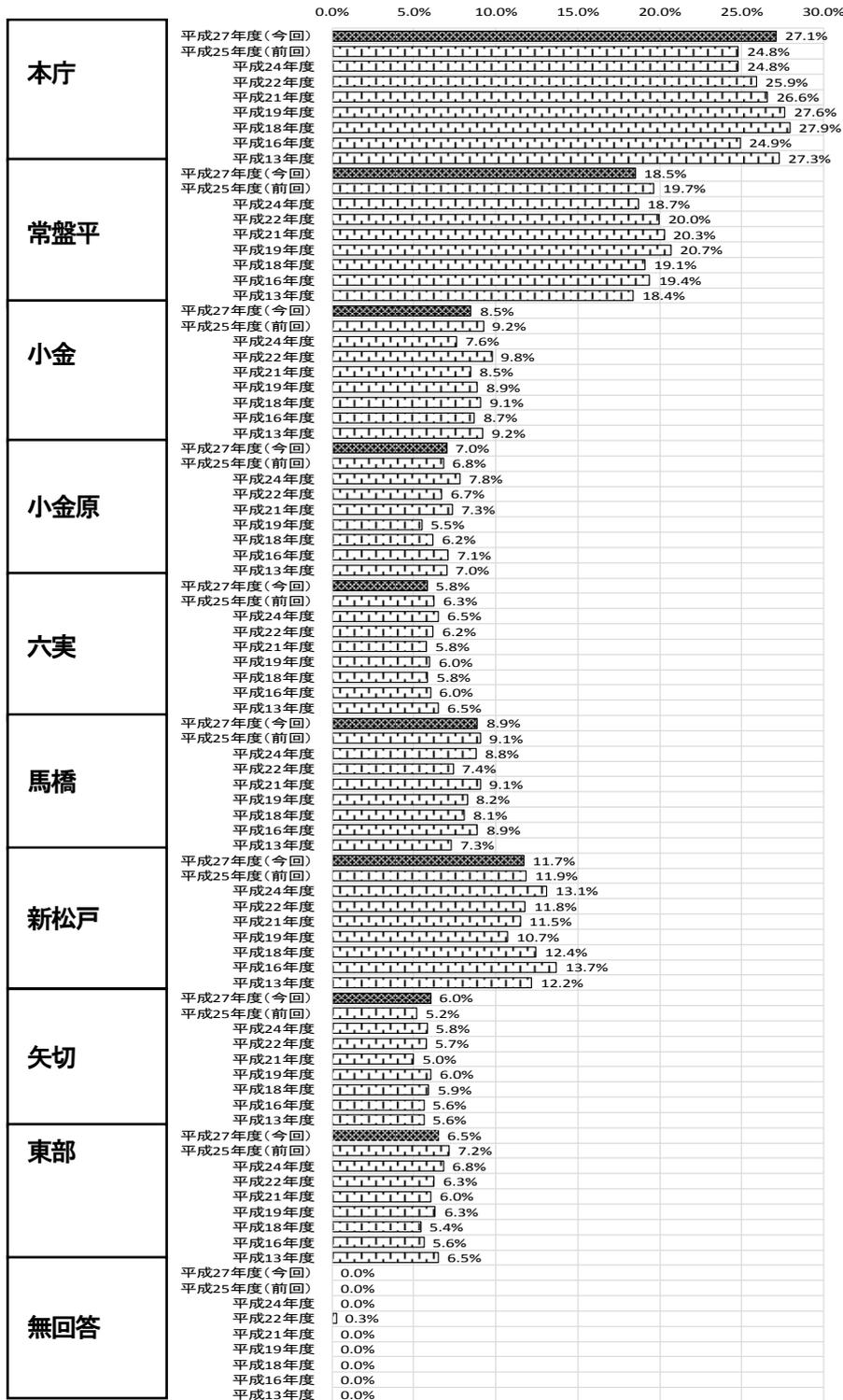
1-2 年齢

回答者の年齢は、前回調査と同様に“65～69歳”、“70～74歳”など、高年代の占める割合が高くなっています。一方で、“20～24歳”、“25～29歳”、“30～34歳”での割合は前回調査よりも低くなっています。



1-3 居住地区

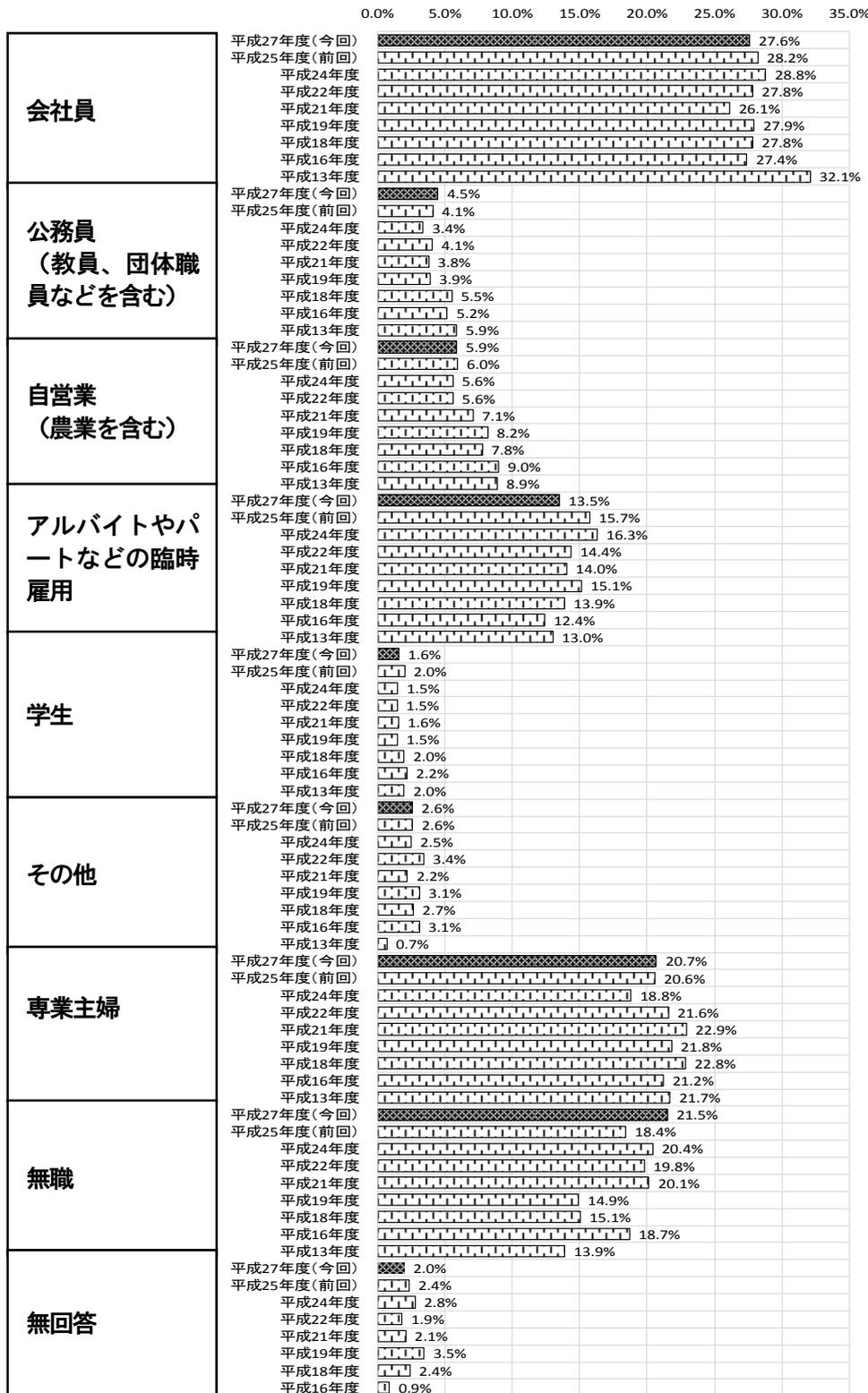
地区(支所管区)別に回答者の居住地区についてみると、“本庁”が27.1%と回答者全体の約1/4を占めています。次いで“常盤平”(18.5%)、“新松戸”(11.7%)となっており、概ね前回調査、前々回調査と同様の傾向を示しています。



1-4 就労状況

(1) 職業

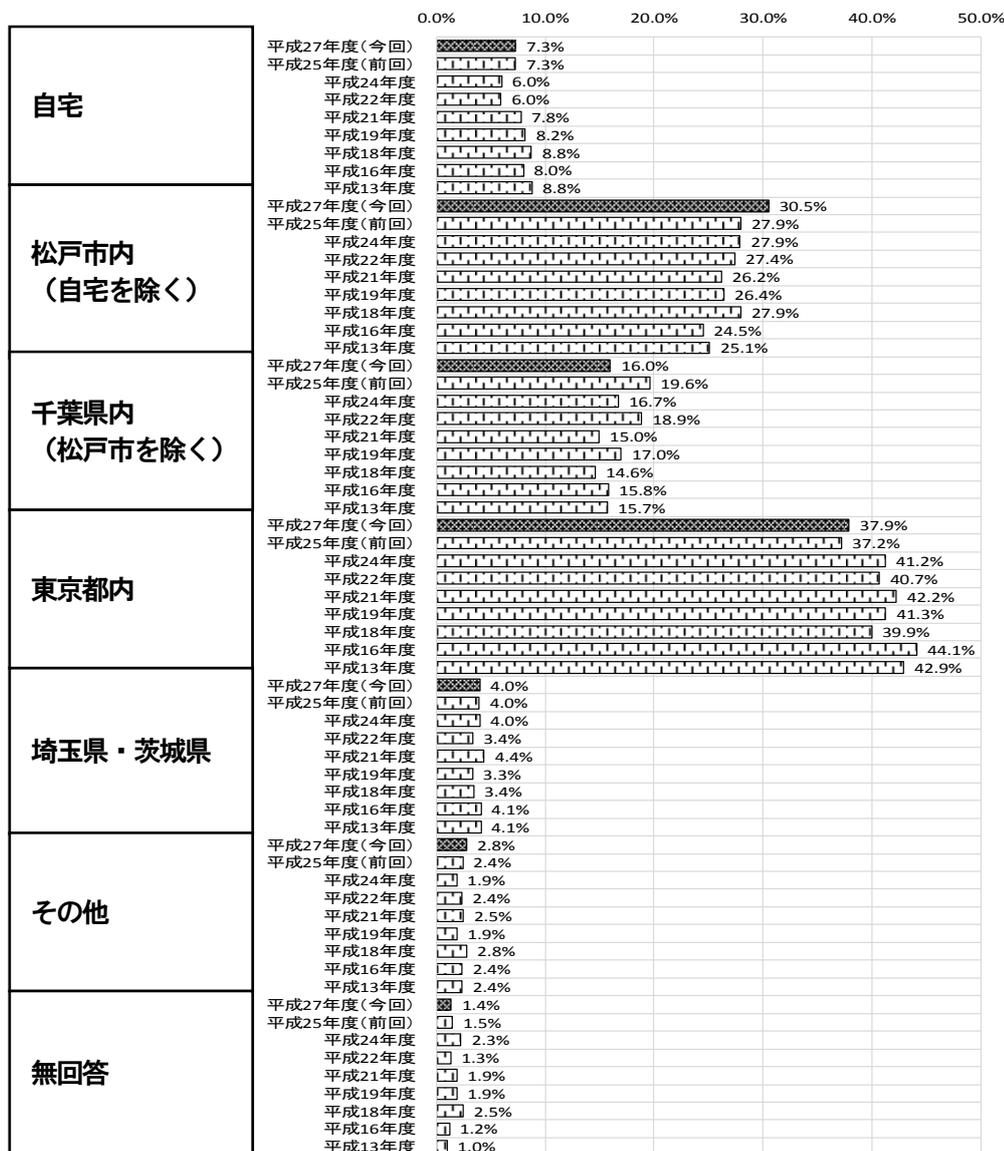
回答者の職業をみると、“会社員”（27.6%）、“専業主婦”（20.7%）、“アルバイトやパートなどの臨時雇用”（13.5%）が多くなっています。また、“無職”（21.5%）となっており、職業の構成はほぼ前回調査と同様となっています。



(2)勤務地・通学地

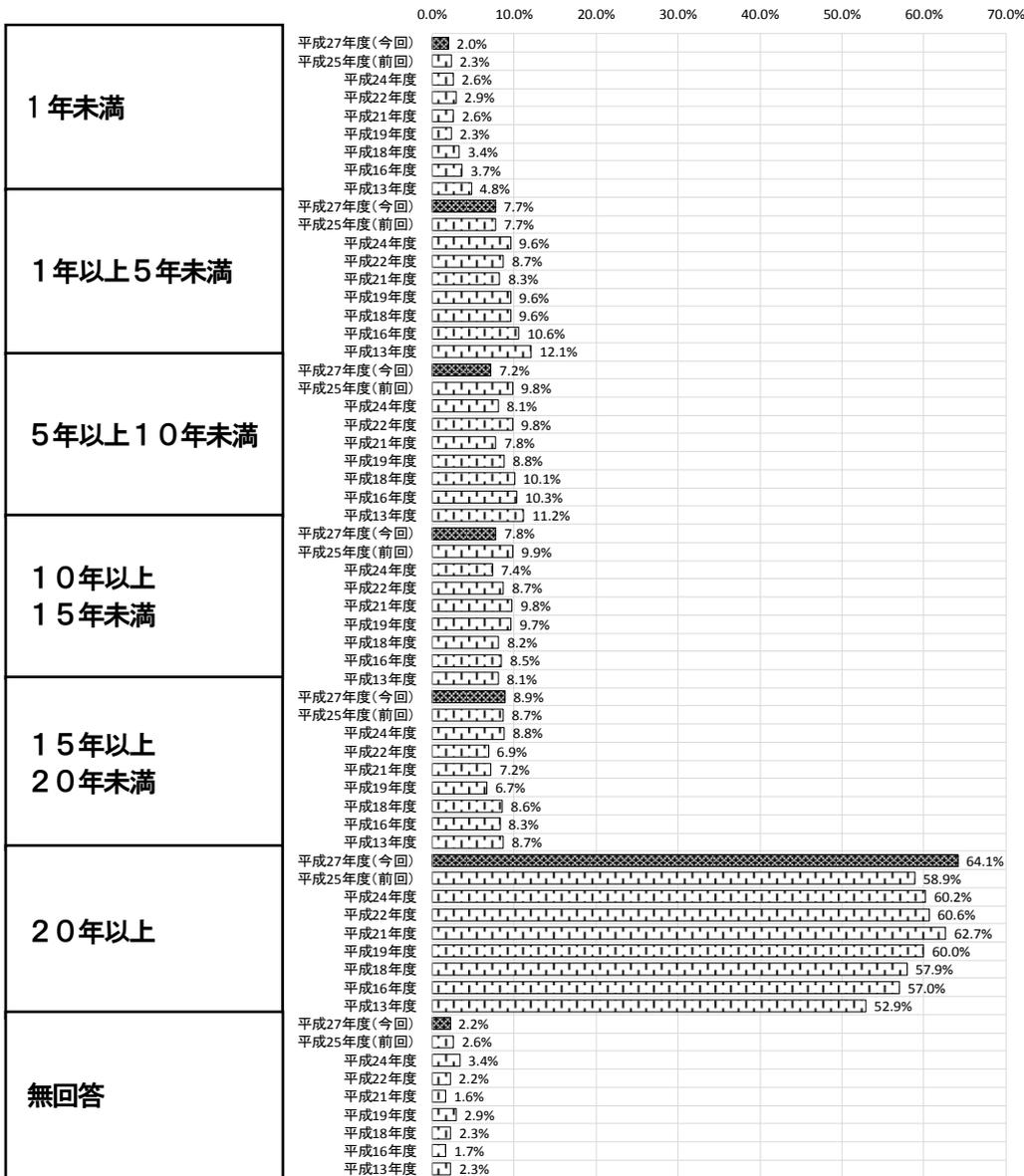
職業に対する回答が“専業主婦”と“無職”だった回答者を除いた674人に対して、勤務地・通学地について聞いたところ、回答者の37.9%は“東京都内”としています。次いで“松戸市内(自宅を除く)”が30.5%となっており、ほぼ前回と同様の傾向を示しています。

前回に比べると、“松戸市内(自宅を除く)”が27.9%から30.5%と回答の割合がやや増加しています



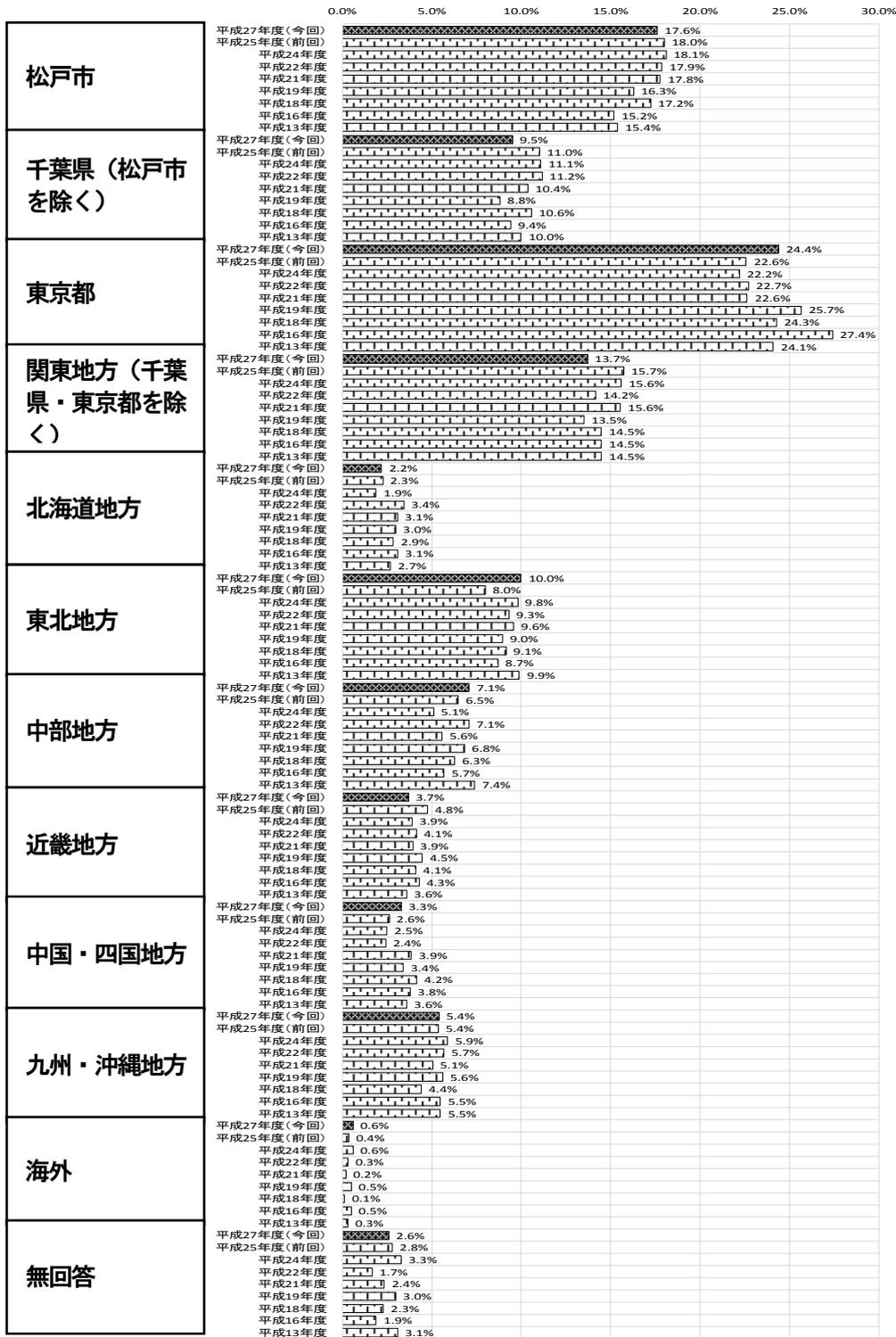
1-5 居住年数

回答者の居住年数は“20年以上”が64.1%で最も多くなっています。前回調査に比べ“20年以上”が58.9%から64.1%と回答の割合が増加しています。



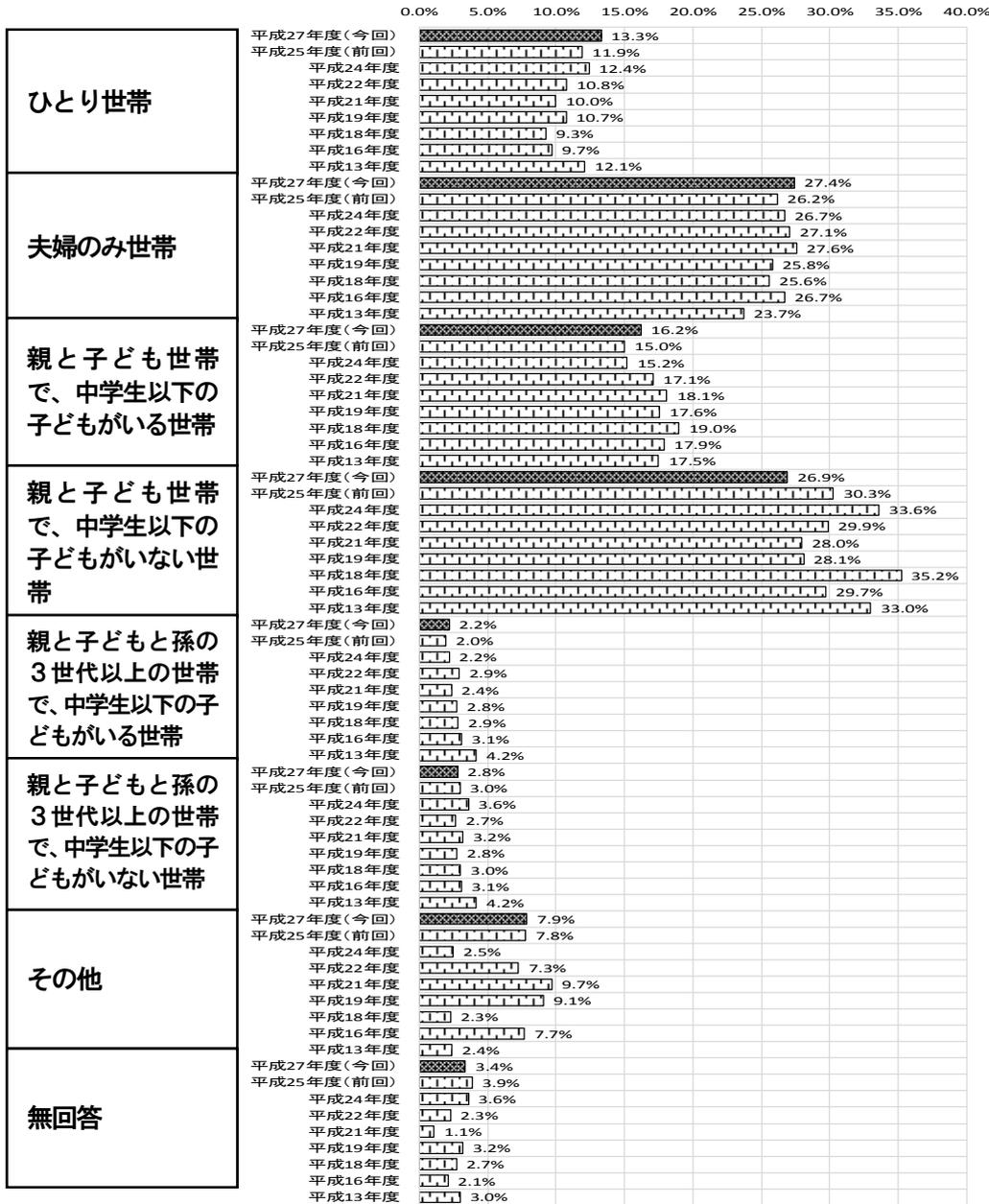
1-6 出身地

回答者の出身地は“東京都”が24.4%で最も多く、次いで“松戸市”(17.6%)、“関東地方(千葉県・東京都を除く)”(13.7%)となっています。



1-7 家族構成

回答者の家族構成をみると、“夫婦のみ世帯”(27.4%)と“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいない世帯”(26.9%)が多く、次いで“親と子ども世帯で、中学生以下の子どもがいる世帯”(16.2%)となっています。

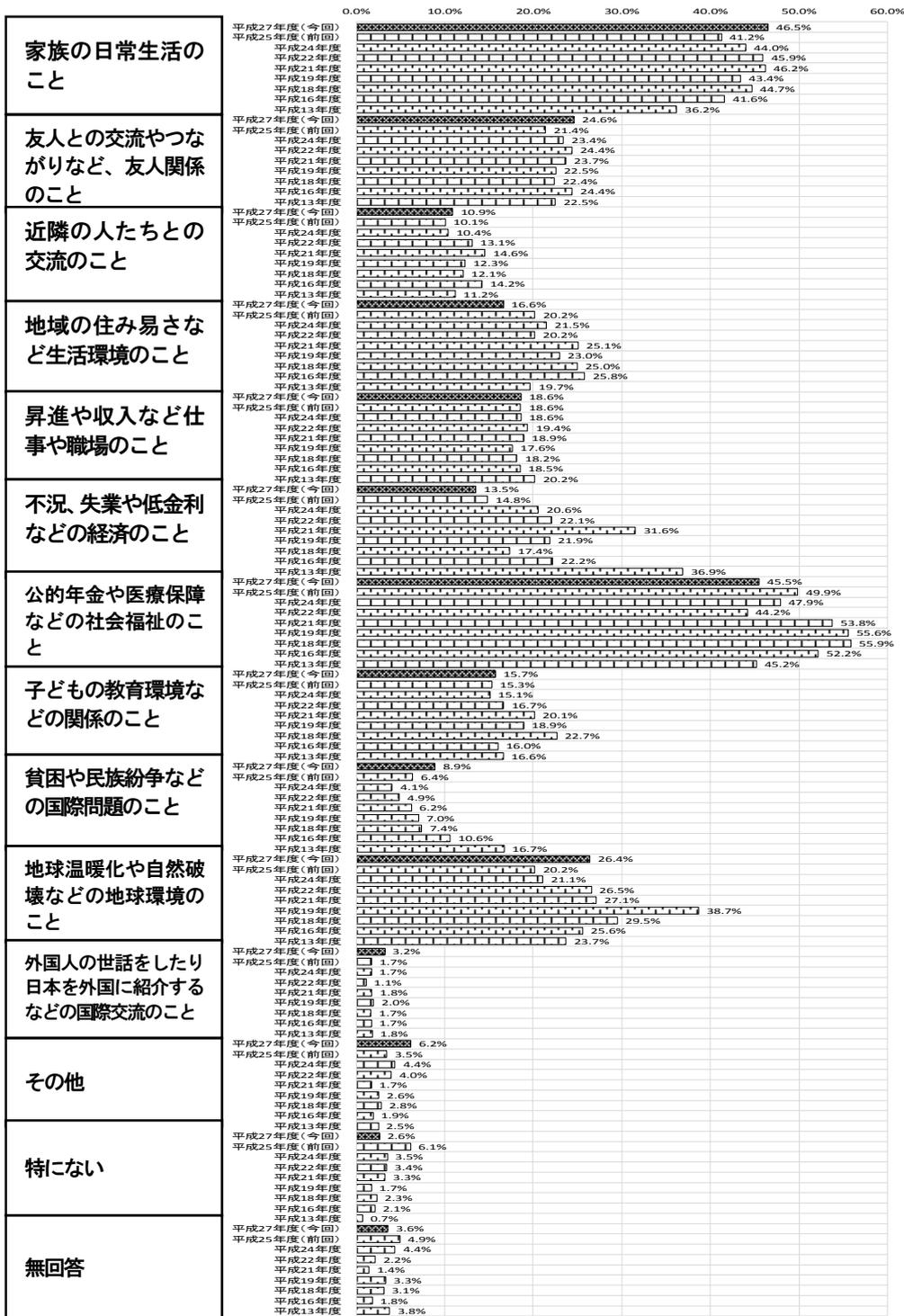


2 回答者の特性

2-1 興味関心

回答者の興味や関心をみると、“家族の日常のこと”(46.5%)“公的年金や医療保障など社会福祉のこと”(45.5%)が多くなっています。

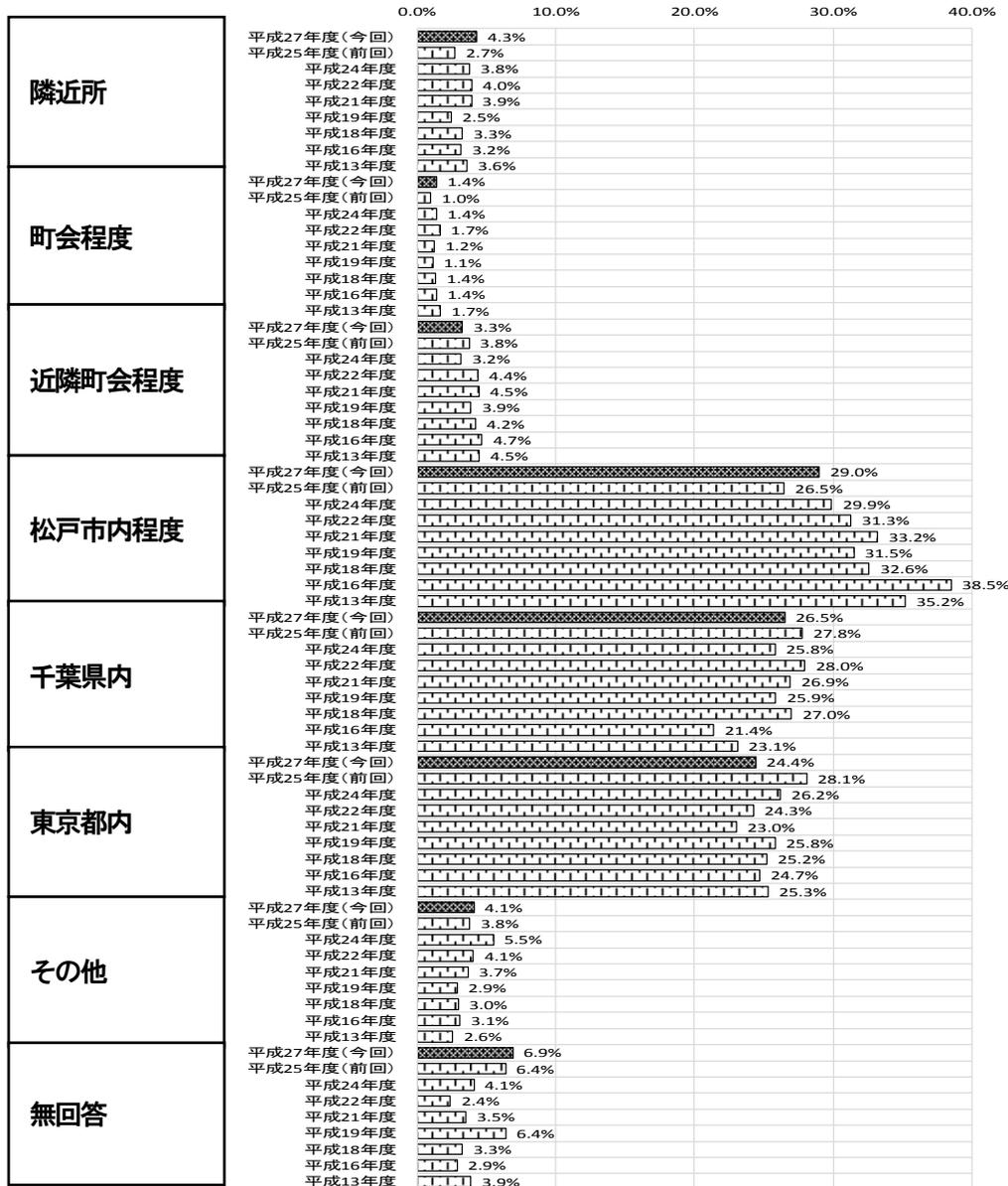
前回と比べると、“地球温暖化や自然破壊などの地球環境のこと”への回答の割合が増え、興味や関心が高くなっています。



2-2 日常的な行動範囲

日常的な行動範囲は、“松戸市内程度”(29.0%)、“千葉県内”(26.5%)が多く、次いで“東京都内”(24.4%)となっています。

前回調査と比べると、“松戸市内程度”への回答の割合が増加し、“隣近所”への回答の割合も増加しています。

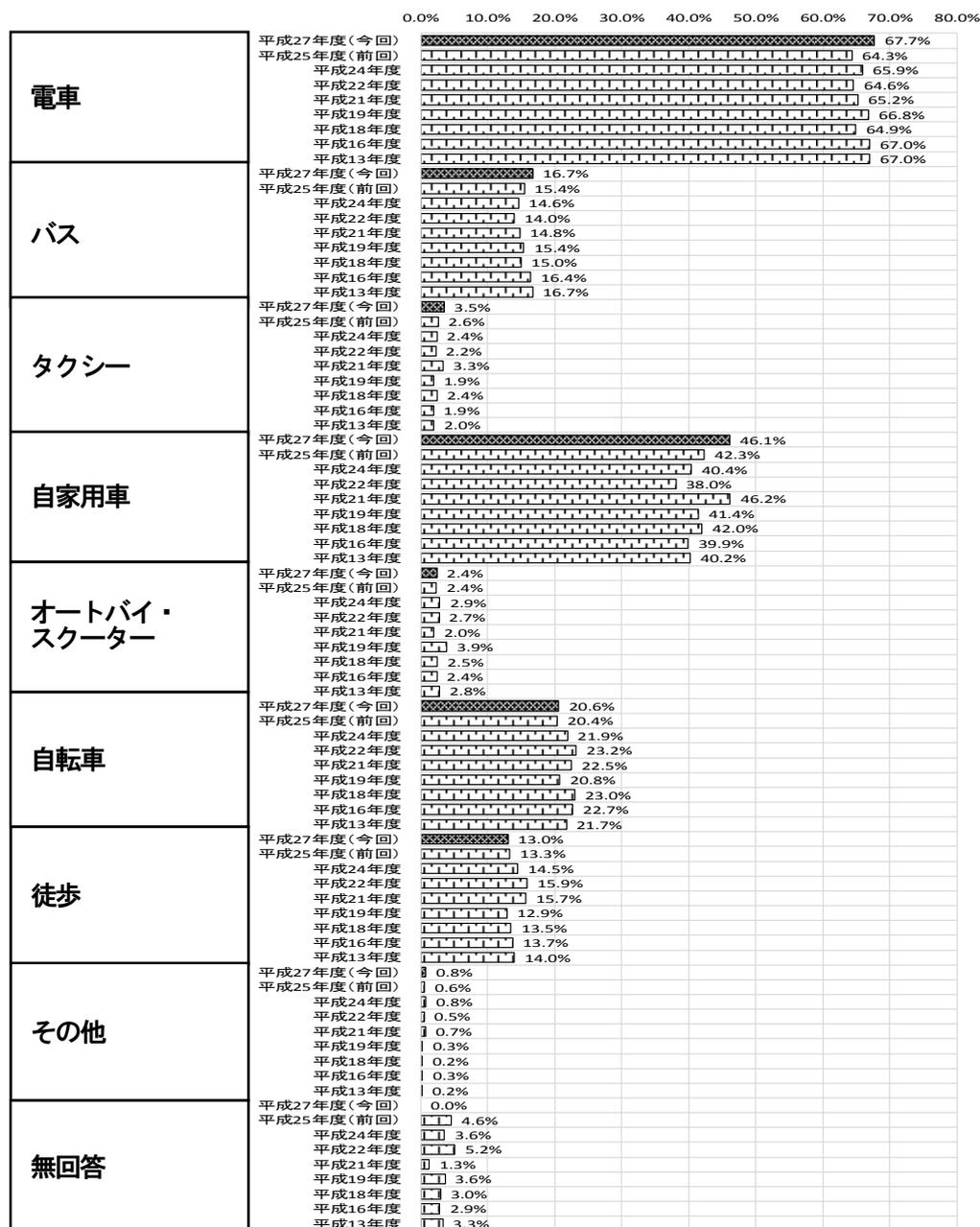


2-3 主な交通手段

回答者の主な交通手段は、“電車”(67.7%)が6割以上と最も多くなっています。次いで“自家用車”が46.1%、“自転車”が20.6%となっています。

前回調査に比べると、“電車”、“バス”、“タクシー”、“自家用車”への回答の割合が増加し、“徒歩”への回答の割合が減少しています。

(複数回答)

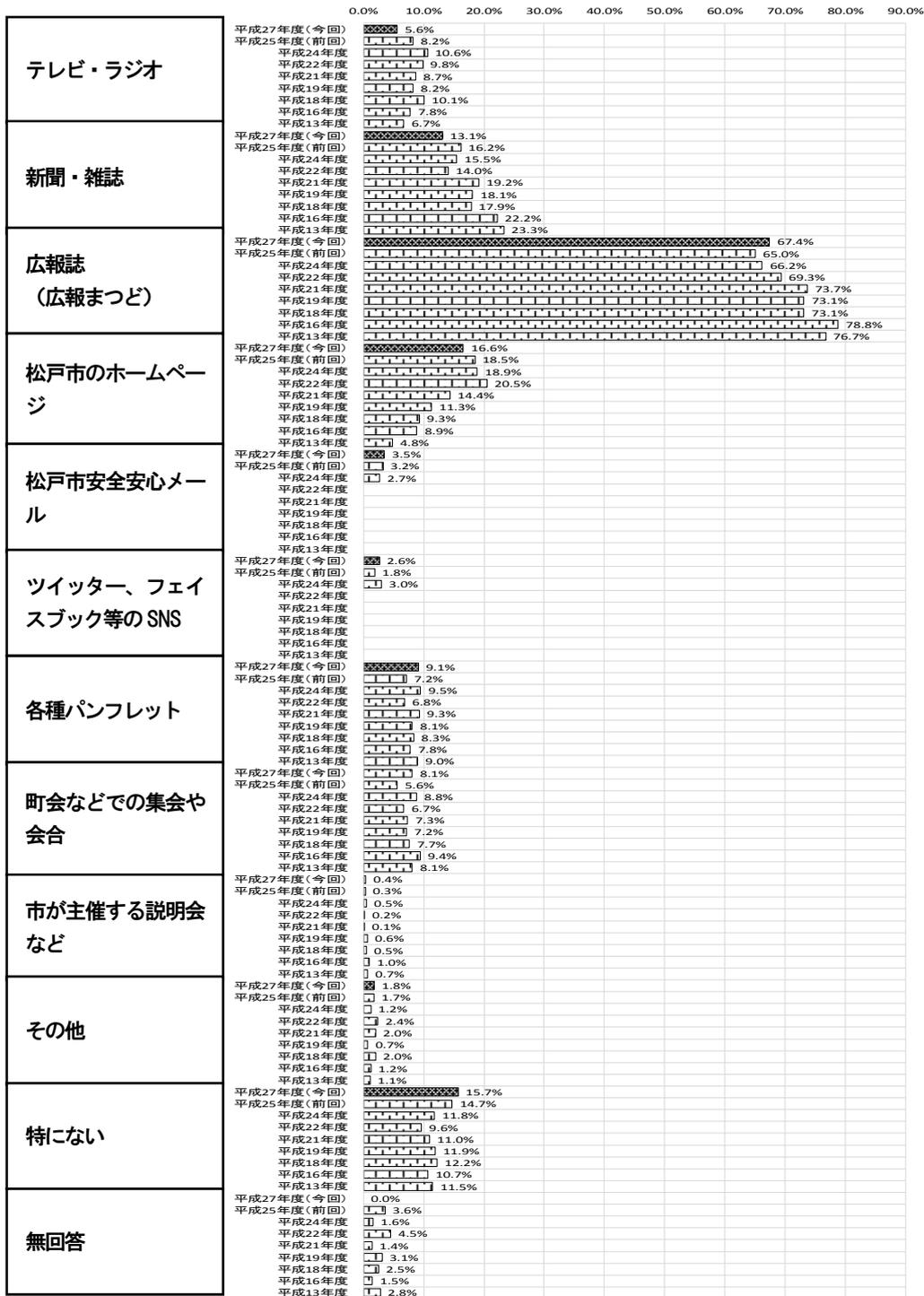


2-4 行政情報の入手先

回答者の行政情報の入手先についてみると、“広報誌(広報まつど)”が67.4%で前回調査と同様に最も多くなっています。

“松戸市のホームページ”は回答の割合がやや減少し、今回調査では16.6%となっています。しかし、情報の入手先としては“広報誌(広報まつど)”に次いで活用されています。

(複数回答)



2-5 行政サービスに対する満足度

行政サービスに対する満足度については、前回同様に“どちらとも言えない”(43.2%)が最も多くなっています。“非常に満足している”、“まあまあ満足している”への回答の割合は前回調査に比べほぼ平行線となっており、“あまり満足していない”への回答の割合は減少しています。

(複数回答)

